

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成21年11月19日(2009.11.19)

【公表番号】特表2009-526226(P2009-526226A)

【公表日】平成21年7月16日(2009.7.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-028

【出願番号】特願2008-554223(P2008-554223)

【国際特許分類】

G 0 1 S	5/14	(2006.01)
H 0 4 W	64/00	(2009.01)

【F I】

G 0 1 S	5/14	5 2 3
H 0 4 Q	7/00	5 0 2
H 0 4 Q	7/00	5 0 6
H 0 4 Q	7/00	5 0 9
G 0 1 S	5/14	5 4 3

【手続補正書】

【提出日】平成21年9月30日(2009.9.30)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

デバイス(22)を位置決定する方法であって、

デバイス(22)が全地球測位システム(32)と相互作用することを容易にするために、デバイスに関するインターネット情報に基づいた推定デバイス位置を使用して、デバイs(22)のためのアシスト全地球測位システム通信(68)を生成することを含み、
デバイス(22)の少なくとも1つのインターネット接続に関する情報を得ることと、
得られた情報から推定デバイス位置の第1の推定を決定することと、

決定された第1の推定に関する信頼レベルを決定することと

によって、推定デバイス位置を決定すること(42、56)と、

信頼レベルが閾値より大きい場合、第1の推定を決定された推定デバイス位置として使用すること、および

信頼レベルが閾値を下回る場合、追加の位置情報が得られるべきであると決定することを含むことを特徴とする、方法。

【請求項2】

推定デバイス位置に関連付けられた少なくとも1つの全地球測位システムコードを決定すること、および

少なくとも1つの全地球測位システムコードを使用して、デバイスに対応した情報から実際のデバイス位置を決定すること

を含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

少なくとも1つの決定された全地球測位システムコードをデバイスに提供すること(70)、および

デバイスからの情報の表示を受信することを含む、請求項2に記載の方法。

【請求項 4】

受信された表示が、少なくとも 1 つの決定された全地球測位システムコードに関連付けられた全地球測位システム衛星を検出するデバイスに対応した擬似距離を含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 5】

受信された表示に基づいた幾何学的分析から実際のデバイス位置を決定することを含む、請求項 3 に記載の方法。

【請求項 6】

決定された信頼レベルが選択された閾値を下回る場合、既知の位置を有する少なくとも 1 つのインターネットノードに対するデバイス位置を表示する、デバイスからの追加の情報を得ること

を含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

既知の位置を有する少なくとも 1 つのインターネットノードについて、デバイスに通知すること、

デバイスと、既知の位置を有する少なくとも 1 つのインターネットノードとの間の相互作用を表示する、デバイスからの、少なくとも 1 つのメトリック表示を得ること、および得られた表示を使用して推定デバイス位置を決定すること

を含む、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

少なくとも 1 つの表示が、デバイスと、既知の位置を有する少なくとも 1 つのインターネットノードとの間の通信に関連したレイテンシに関する情報を含む、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

デバイスにおいて、インターネットを介した、推定デバイス位置に基づいて生成されたアシスト全地球測位システム通信を受信すること、および

受信された通信を使用して、デバイスからの少なくとも 1 つの全地球測位システム測定を容易にすること

を含む、請求項 1 に記載の方法。